

農地から非農地への変化がもたらすもの

丹後



比良

琵琶湖

印旛沼



Google Map

深町加津枝（京都大学）

丹後半島山間部の事例



昭和前期の世屋地区



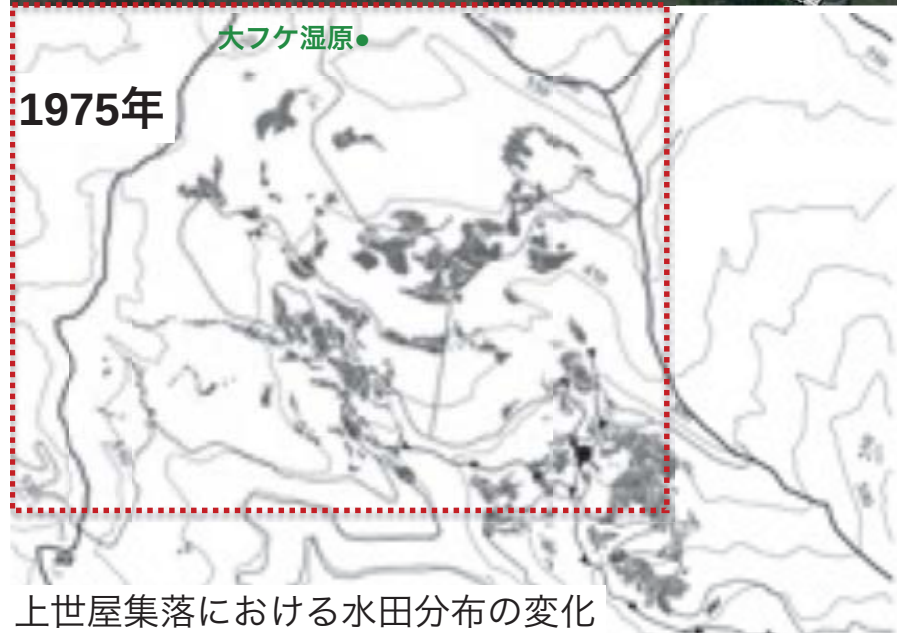
宮津市世屋地区の里山



大フケ湿原

深町ら（2010）丹後半島山間部の棚田景観の変遷と棚田の残存要因に関する研究
麓（2012）宮津市下店や集落における耕作放棄水田の植生構造と高層湿原化の可能性

世屋地区における水田分布の変化



放棄水田から湿地への変化

- ・ 大フケ湿原(標高540m)から集落中心にかけて多くの水田が点在
- ・ 放棄後50年が経過した水田でも湧水等により一定の水位が保たれ湿原性植物（モウセンゴケ、ミズトンボ等）動物（ハッチョウトンボ等）の生育環境
- ・ ミズゴケの発達した水田も見られ、今後高層湿原へ発達する可能性
- ・ 深田を活かしたレンコンの栽培



モウセンゴケ



レンコンの栽培



ミズトンボ

(環境省R D絶滅危惧II類)



ハッチョウトンボ



放棄農地から野草地への変化と生物文化多様性

世屋地区の水田周辺で見られた主な植物



チマキザサの利用



笹葺屋根



祇園祭の厄除粽



粽（和菓子）



野草地：ススキ草原・チガヤ草原などの半自然草地

放棄農地から里山林、人工林への変化



放棄水田から里山林への遷移



集落跡地への植林



放棄水田への植林

丹後半島山間部の里山林の利用・管理と出現した植物種との関係

利用区分	天然生里山 ブナ林	選択的管理 里山ブナ林	長伐期管理 里山ブナ林	日常炭焼林	薪採取林	陰伐地
利用目的	—	大径用材 (梁材)	炭焼き	炭焼き	薪採取	水田被陰防 止, 柴, 緑肥
伐採周期	ほとんど伐採 なし	100年～	60年～	40～60年	20～40年	1～10年
伐採法	ほとんど伐採 なし	択伐 (単木の利用)	小面積皆伐	小面積皆伐	小面積皆伐, 択伐	皆伐
標高 (m)	600～670	480～540	530～700	460～620	500～630	460～520
上層植物の総出現種数 (地表高≥2m)	71	69	70	90	88	100
下層植物の総出現種数 (地表高<2m)	141	104	124	178	164	177
チシマザサ出現率 (%)	81	0.3	1	4.4	0	0
チマキザサ出現率 (%)	3.7	88.3	68.5	76.6	88.4	40
上層植物の胸高断面積 合計(cm ² /ha)	474,840	438,683	398,804	482,180	284,121	254,904

注: 表中の数値は、選択的管理里山ブナ林では3箇所、それ以外の利用区分では4箇所の植生調査の結果に基づく。

深町(2002)より引用



里山林：集落近くにあり、薪炭材の採取や山菜取り、肥料用の落ち葉の採取など、地域住民の生活と密接に結びついた森林の総称